

令和3年度

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

事業報告書

社会福祉法人いなかわ福祉会

目 次

【R3 年度事業報告】

令和 3 年度事業について	．．．	1 ページ
1. 各種会議状況	．．．	2 ページ
2. 職員資格取得	．．．	5 ページ
3. 法人全体の委員会	．．．	5 ページ
4. 施設利用 など	．．．	5 ページ
5. 職員研修	．．．	6 ページ
6. 寄付状況	．．．	8 ページ
7. 消防・防災訓練及び自主点検実施	．．．	10 ページ
8. 本部事務局	．．．	11 ページ
9. くるみケアプランセンター	．．．	13 ページ
10. 稲川在宅介護支援センター	．．．	15 ページ
11. 特別養護老人ホーム健寿苑 （健寿苑短期入所含む）	．．．	17 ページ
12. いなかわ福祉会ヘルパーステーション	．．．	20 ページ
13. ケアセンターいなかわデイサービス	．．．	22 ページ
14. ケアセンターいなかわショートステイ	．．．	24 ページ
15. 配食サービス	．．．	26 ページ
16. 健寿苑サライ型特別養護老人ホームスマイルケアみつなし	．．．	27 ページ
17. 小規模多機能型居宅介護スマイルケアみつなし	．．．	30 ページ
18. ヘルスカフェ舞夢	．．．	32 ページ
19. 舞夢ケアプランセンター	．．．	34 ページ
20. あおぞらこども園	．．．	36 ページ
21. あおぞらK i d ’ s	．．．	39 ページ

令和3年度事業について

新型コロナウイルス感染防止策の徹底に努めた一年となりました。感染防止のため、ご入居された方々は、面会制限を余儀なくされ、また通所等を利用される方々の行動制限もあり、ご利用者並びにご家族には大変ご不便をおかけいたしました。保育においても様々な交流事業が縮小、中止となる等、事業運営に大きな影響がありました。人的な交流を制限されることにより、サービスの質が低下しないよう努めました。職員も相当なプレッシャーの中、ウイルスを『持ち込まない』との強い意識で業務に臨みました。当面の間は、感染防止策の継続が必要となるため、法人全体が一丸となって感染防止の徹底に努めて参ります。

令和3年度いなか福祉会では、基本方針として4項目を定め事業を進めてまいりました。『人権の尊重』では、多様な福祉サービスがご利用者の意向を尊重し総合的に提供されるよう創意工夫を行い、利用される方々の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援すること、また、自立した生活を地域社会において営むことができるよう寄り添う姿勢を大切に取り組みました。

『地域福祉の推進』では、4月から地元との繋がり窓口を町中心部に構え、誰もが気軽に相談できる環境を整えました。多様化する相談内容に対応すべく、関係機関等と連携し情報共有を行い、寄り添う姿勢を大切に課題解決に取り組みました。

『職員処遇の向上』では、処遇改善加算、特定事業所加算を算定し職員の給与の改善を図りました。昨年度末には処遇改善臨時特例交付金の支給が決まり、補助金の形で2月から制度が開始され、新たな手当の支給を行っています。また、資格支援制度では、2名の職員が制度を利用し資格の取得をしました。

『経営の安定』では、ケアセンターと統合した、新生健寿苑が4月開所となりました。ご利用される方々の生活環境や職員の働きやすい環境が整いました。特養定員を8名増床しスタートしましたが、新型コロナウイルス等の影響もあり、即時満床とはなりませんでしたが、希望される方々の入所を進め、年度末には、満床となった次第です。移転改築に伴い他事業所の課題も浮き彫りとなり、様々な場面で話し合う場を設け、次年度以降の課題整理をいたします。

終わりに、社会福祉法人には地域に貢献するという使命があり、採算がとれない事業にも取り組んでいかなければなりません。採算を求めてはいけないとの思いが根底にあります。しかし、一方では一般企業の経営から学び、福祉業界においても採算性の考え方は必要と考えています。採算が合わなければ、事業として軌道に乗せ継続することができずサービスの停滞に繋がります。私たちは、そこから出た収益をサービスという形で必要とされる方々へ還元します。この形を維持し事業を運営することを徹底してまいります。今後もしもご利用者、地域の方々から選ばれる『いなか福祉会』として、時代に即応した福祉サービスを実施すべく法人基本理念に基づき、新規事業、経営改革に取り組んでまいります。

令和3年度 事業報告

1. 各種会議状況

◎ 理事会開催状況

回	開催日	案 件		場所	出席状況
第1回	6月10日 (木)	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号	社会福祉法人いなかわ福祉会 定款の変更について 社会福祉法人いなかわ福祉会 令和2年度事業報告について 社会福祉法人いなかわ福祉会 令和2年度決算報告について 社会福祉法人いなかわ福祉会 次期役員候補者について 秋田市介護予防・日常生活支援総合事業に係る新規事業運営 規程の制定について 社会福祉法人いなかわ福祉会 稲川地域統合放課後児童クラ ブ指定管理の受託について 社会福祉法人いなかわ福祉会 定時評議員会の招集について	ケア・ラザ いなかわ 会議室	出 席 6 名 書面出席 0 名 欠 席 0 名 監 事 2 名
第2回	6月25日 (金)	議案第8号 議案第9号	社会福祉法人いなかわ福祉会 理事長の選定について 社会福祉法人いなかわ福祉会 常務理事の選定について	ケア・ラザ いなかわ 会議室	出 席 6 名 書面出席 0 名 欠 席 0 名 監 事 1 名
第3回	8月6日 (金)	議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 報告第1号	社会福祉法人いなかわ福祉会 評議員選任・解任委員の選任 について 社会福祉法人いなかわ福祉会 介護部運営規程の一部改正に ついて 社会福祉法人いなかわ福祉会 経理規程の一部改正について 社会福祉法人いなかわ福祉会 令和3年度第2回評議員会の 招集について 稲川地域統合放課後児童クラブの運営に係る協議の進捗状況 について	養心館	出 席 6 名 書面出席 0 名 欠 席 0 名 監 事 2 名
第4回	10月25日 (月)	議案第14号 議案第15号 報告第2号 報告第3号 報告第4号 報告第5号	社会福祉法人いなかわ福祉会 令和3年度第1次補正予算 (案)について 社会福祉法人いなかわ福祉会 令和3年度第3回評議員会の 招集について 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について 社会福祉法人いなかわ福祉会 介護部施設整備計画について 社会福祉法人いなかわ福祉会 地域包括支援センター運營業 務委託について 稲川地域統合放課後児童クラブの運営に係る協議の進捗状況 について	ケア・ラザ いなかわ 会議室	出 席 5 名 書面出席 0 名 欠 席 1 名 監 事 1 名
第5回	令和4年 2月7日 (月)	議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号	社会福祉法人いなかわ福祉会 人事考課規程の一部改正につ いて 社会福祉法人いなかわ福祉会 経理規程の一部改正について 社会福祉法人いなかわ福祉会 就業規則の一部改正について 社会福祉法人いなかわ福祉会 育児・介護休業規程の一部改 正について 社会福祉法人いなかわ福祉会 ハラスメントの防止に関する 規程の制定について	ケア・ラザ いなかわ 会議室	出 席 6 名 書面出席 0 名 欠 席 0 名 監 事 2 名

		議案第 21 号 議案第 22 号 議案第 23 号 議案第 24 号 議案第 25 号 報告第 6 号	社会福祉法人いなかわ福祉会 社会福祉法人いなかわ福祉会 社会福祉法人いなかわ福祉会 社会福祉法人いなかわ福祉会 社会福祉法人いなかわ福祉会 稲川地域統合放課後児童クラブの運営に係る協議の進捗状況について	給与規程の一部改正について 準職員等就業規程の一部改正について 臨時職員就業規程の一部改正について 登録職員就業規程の一部改正について 第 4 回評議員会の招集について		
第 6 回	令和 4 年 3 月 8 日 (火)	議案第 16 号 議案第 26 号 議案第 27 号 議案第 28 号 議案第 29 号 議案第 30 号 議案第 31 号 議案第 32 号 議案第 33 号 議案第 34 号 議案第 35 号 議案第 36 号 報告第 7 号	社会福祉法人いなかわ福祉会 社会福祉法人いなかわ福祉会 社会福祉法人いなかわ福祉会 社会福祉法人いなかわ福祉会 社会福祉法人いなかわ福祉会 社会福祉法人いなかわ福祉会 社会福祉法人いなかわ福祉会 社会福祉法人いなかわ福祉会 社会福祉法人いなかわ福祉会 社会福祉法人いなかわ福祉会 社会福祉法人いなかわ福祉会 社会福祉法人いなかわ福祉会 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について	人事考課規程の一部改正について（継続審議） 舞夢ケアプランセンターの廃止について 放課後児童クラブ運営規程の廃止並びに制定について 経理規程の一部改正について 令和 4 年度事業計画（案）について 令和 4 年度当初予算（案）について 給与規程の一部改正について 準職員等就業規程の一部改正について 臨時職員就業規程の一部改正について 登録職員就業規程の一部改正について 令和 4 年度本部事務局長、施設長、園長の任命について 第 5 回評議員会の招集について	777°ラザ いなかわ 会議室	出席 6 名 書面出席 0 名 欠席 0 名 監事 2 名

◎ 評議員会開催状況

回	開催日	案 件		場所	出席状況
定時	6 月 25 日 (金)	議案第 1 号	社会福祉法人いなかわ福祉会 定款の変更について	777°ラザ いなかわ 会議室	出 席 7 名 欠 席 0 名 監 事 1 名
		議案第 2 号	社会福祉法人いなかわ福祉会 令和 2 年度決算報告について		
		議案第 3 号	社会福祉法人いなかわ福祉会 社会福祉充実計画について		
		議案第 4 号	社会福祉法人いなかわ福祉会 次期役員の選任について		
		議案第 5 号	社会福祉法人いなかわ福祉会 秋田市介護予防・日常生活支援総合事業に係る新規事業運営規程の制定について		
		議案第 6 号	社会福祉法人いなかわ福祉会 稲川地区統合放課後児童クラブ指定管理の受託について		
		報告第 1 号	社会福祉法人いなかわ福祉会 令和 2 年度事業報告について		

第 2 回	8 月 16 日 (月)	報告第 2 号 報告第 3 号 報告第 4 号	社会福祉法人いなかわ福祉会 介護部運営規程の一部改正について 社会福祉法人いなかわ福祉会 経理規程の一部改正について 稲川地域統合放課後児童クラブの運営に係る協議の進捗状況について		評議員 7 名の 同意書
第 3 回	11 月 2 日 (火)	議案第 7 号 報告第 5 号 報告第 6 号 報告第 7 号	社会福祉法人いなかわ福祉会 令和 3 年度第 1 次補正予算(案)について 社会福祉法人いなかわ福祉会 介護部施設整備計画について 社会福祉法人いなかわ福祉会 地域包括支援センター運営業務委託について 稲川地域統合放課後児童クラブの運営に係る協議の進捗状況について	777*ラザ いなかわ 会議室	出席 6 名 欠席 1 名 監事 1 名
第 4 回	令和 4 年 2 月 21 日 (月)	報告第 8 号 報告第 9 号 報告第 10 号 報告第 11 号 報告第 12 号 報告第 13 号 報告第 14 号 報告第 15 号 報告第 16 号	稲川地域統合放課後児童クラブの運営に係る協議の進捗状況について 社会福祉法人いなかわ福祉会 経理規則の一部改正について 社会福祉法人いなかわ福祉会 就業規則の一部改正について 社会福祉法人いなかわ福祉会 育児・介護休業規程の一部改正について 社会福祉法人いなかわ福祉会 ハラスメントの防止に関する規程の制定について 社会福祉法人いなかわ福祉会 給与規程の一部改正について 社会福祉法人いなかわ福祉会 準職員等就業規程の一部改正について 社会福祉法人いなかわ福祉会 臨時職員就業規程の一部改正について 社会福祉法人いなかわ福祉会 登録職員就業規程の一部改正について		評議員 7 名の 同意書
第 5 回	令和 4 年 3 月 15 日 (火)	議案第 8 号 議案第 9 号 報告第 17 号 報告第 18 号 報告第 19 号 報告第 20 号 報告第 21 号	社会福祉法人いなかわ福祉会 令和 4 年度事業計画(案)について 社会福祉法人いなかわ福祉会 令和 4 年度当初予算(案)について 社会福祉法人いなかわ福祉会 人事考課規程の一部改正について 社会福祉法人いなかわ福祉会 舞夢ケアプランセンターの廃止について 社会福祉法人いなかわ福祉会 放課後児童クラブ運営規程の廃止並びに制定について 社会福祉法人いなかわ福祉会 経理規程の一部改正について 社会福祉法人いなかわ福祉会 給与規程の一部改正について	777*ラザ いなかわ 会議室	出席 7 名 欠席 0 名 監事 1 名

	報告第 22 号	社会福祉法人いなかわ福祉会 準職員等就業規程の一部改正について		
	報告第 23 号	社会福祉法人いなかわ福祉会 臨時職員就業規程の一部改正について		
	報告第 24 号	社会福祉法人いなかわ福祉会 登録職員就業規程の一部改正について		
	報告第 25 号	社会福祉法人いなかわ福祉会 令和 4 年度本部事務局長、施設長、園長の任命について		

◎ 第三者委員会開催状況

回	開催日	案 件	場所	出席状況
第 1 回	令和 4 年 3 月 24 日 (木)	苦情解決処理表をもとに報告（保育部 0 件 介護部 1 件）	777 777 いなかわ 会議室	出 席 2 名

2. 職員資格取得

資 格 名	資格取得
調 理 師	1 名
介護福祉士	2 名
管理栄養士	1 名

3. 法人全体の委員会

委員会名	委員数	活動内容	開催回数	備考
業務改善委員会	8 名	・財政状況、就労環境、労働環境 職員育成 委員会組織 ・経営検討会について	7 回	経営検討会及び実績検討会、幹部会議
衛生管理委員会	18 名	・職員健康診断について ・ストレスチェックの実施 ・産業医の意見聴取	8 回	旧衛生委員会 旧感染症対策委員会
事故防止委員会	16 名	・事故、事例検証 ・事故防止対策の検討 ・事故防止マニュアルの見直し	3 回	旧身体拘束委員会 旧リスクマネジメント委員会
行事広報委員会	20 名	・機関紙『福祉会だより』の発行 ・イベントの企画	1 回	旧行事研修委員会 旧広報委員会

4. 施設利用など

◎施設見学・実習……新健寿苑における内覧会（R4. 3. 25）

……あおぞらこども園に聖園短期大学 1 年（2 名）が教育実施（10 日間）

◎ボランティア ……10 月 12 日（火）湯沢市シルバー人材センターの稲川・皆瀬地区会員による旧健寿苑庭草刈りボランティア（参加 11 名）

5. 職員研修

◎外部研修

月 日		部 署	氏 名	研 修 内 容	備 考
4	14	くるみ	佐藤真紀子	第1回ケアマネ研修「介護報酬改定の詳細解説	リモート研修
	14	くるみ	佐藤由美子	第1回ケアマネ研修「介護報酬改定の詳細解説	リモート研修
	17	くるみ	佐藤真紀子	第1回湯沢市主任介護支援専門員連絡会	湯沢市役所
	20	在介	加藤 直美	秋田県老人施設協議会 役員会	秋田市
5	24	あおぞら	菊子 恵美	民間保育協議会合同部会	リモート研修
6	2	あおぞら	佐々木美佳	就学前教育理解推進研修	リモート研修
	9	あおぞら	竹内 智哉	幼稚園・保育所・認定こども園5年経験者研修①	リモート研修
	17	くるみ	三浦美智子	第2回事例検討会	湯沢市役所
	17	くるみ	阿部 真美	第2回事例検討会	湯沢市役所
	21	あおぞら	菊子 恵美	民間保育協議会研修部会	リモート研修
	24	あおぞら	新山 美喜	新任特別支援教育コーディネーター研修会①	浅舞公民館
	28	あおぞら	藤原 菜緒	幼稚園・保育所・認定こども園中堅教諭等資質向上研修①	リモート研修
7	1	あおぞら	菊子 恵美	第23回保育カウンセリングセミナー	リモート研修
	1	あおぞら	加藤 智恵	第23回保育カウンセリングセミナー	リモート研修
	1	あおぞら	佐藤 麻美	第23回保育カウンセリングセミナー	リモート研修
	13	あおぞら	藤原 菜緒	幼稚園・保育所・認定こども園中堅教諭等資質向上研修②	リモート研修
	17	あおぞら	新山 美喜	発達障害児及び家族等支援事業者研修	リモート研修
	19	あおぞら	菊子 恵美	民間保育協議会研修部会	リモート研修
	19	舞夢	福原恵里子	第2回湯沢市自立支援地域ケア会議	湯沢市役所
	20	在介	加藤 直美	湯沢雄勝郡地域包括在介センター協議会研修	羽後町役場
	20	在介	藤原 寿子	湯沢雄勝郡地域包括在介センター協議会研修	羽後町役場
	20	小規模	安達 明美	第1回小規模多機能型施設ネットワーク会	ケアラザ いなかわ
	26	事務局	古関 司	介護支援専門員研修会②及び更新研修（～29日）	リモート研修
	30	あおぞら	菊子 恵美	第30次保育士研究会	リモート研修
8	2	あおぞら	沓澤香代子	特別支援教育かがやきミーティング	リモート研修
	2	あおぞら	新山 美喜	特別支援教育かがやきミーティング	リモート研修
	2	デイ	高橋奈津子	介護支援専門員更新研修（～9/2）	リモート研修
	10	あおぞら	藤原 菜緒	幼稚園・保育所・認定こども園中堅教諭等資質向上研修③	リモート研修
	16	あおぞら	菊子 恵美	民間保育協議会研修部会	リモート研修
	17	小規模	安達 明美	介護支援専門員研修課程②（4日間）	リモート研修
	17	スマイル	加藤美紀子	介護支援専門員更新研修（4日間）	リモート研修
	23	事務局	大友 昌子	稲川地域チャレンジ会議	農村環境改善センター
	30	デイ	皆川 康子	介護福祉士実務者研修（7日間）	御所野フレスト 秋田
9	2	あおぞら	竹内 智哉	幼稚園・保育所・認定こども園5年経験者研修②	リモート研修
	3	あおぞら	新山 美喜	C-31 発達のはかりや子どもの支援	リモート研修
	6	舞夢	福原恵里子	第2回ケアラー支援・普及啓発セミナー	リモート研修
	6	くるみ	佐藤真紀子	第2回ケアラー支援・普及啓発セミナー	リモート研修
9	6	くるみ	佐藤由美子	第2回ケアラー支援・普及啓発セミナー	リモート研修
	6	くるみ	阿部 真美	第2回ケアラー支援・普及啓発セミナー	リモート研修
	6	くるみ	高橋 千穂	第2回ケアラー支援・普及啓発セミナー	リモート研修
	6	くるみ	三浦美智子	第2回ケアラー支援・普及啓発セミナー	リモート研修
	6	在介	加藤 直美	第2回ケアラー支援・普及啓発セミナー	リモート研修
	6	在介	藤原 寿子	第2回ケアラー支援・普及啓発セミナー	リモート研修

9	6	スマイル	加藤美紀子	第2回ケアラー支援・普及啓発セミナー	リモート研修
	6	小規模	安達 明美	第2回ケアラー支援・普及啓発セミナー	リモート研修
	14	あおぞら	小林 藍香	キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）（～15日）	浅舞公民館
	14	デイ	後藤 郁子	介護支援専門員更新研修会（～17日）	リモート研修
	14	くるみ	三浦美智子	介護支援専門員専門研修課程②（～17日）	リモート研修
	16	健寿苑	齊藤 葉子	施設・生活の場における介護・看護連携と介護の役割	県立衛生看護学院
	17	事務局	三春 香織	精神・発達障害者しごとサポーター養成講座	ハローワーク湯沢
	21	あおぞら	藤原 菜緒	幼稚園・保育所・認定こども園中堅教諭等資質向上研修④	リモート研修
10	5	あおぞら	竹内 智哉	幼稚園・保育所・認定こども園5年経験者研修③	リモート研修
	5	厨房	高橋 桃子	施設給食担当職員研修	社会福祉会館
	7	事務局	古関 司	企業価値としてのSDGsとESG	リモート研修
	13	あおぞら	藤原 菜緒	幼稚園・保育所・認定こども園中堅教諭等資質向上研修⑤	リモート研修
	14	あおぞら	岡本 智恵	キャリアアップ研修マネジメント①（～15日）	県生涯学習センター
	14	事務局	滝 和也	労働基準法の基本のキ	サンサン横手
	14	事務局	三春 香織	労働基準法の基本のキ	サンサン横手
	14	事務局	加藤美由紀	労働基準法の基本のキ	サンサン横手
	21	デイ	高橋美和子	生涯研修課程（中堅コース）（～22日）	社会福祉会館
	22	事務局	古関 司	福祉施設・事業所のトラブル対応	リモート研修
	28	在介	加藤 直美	市町村認知症担当者及び認知症地域支援推進員研修	リモート研修
	28	小規模	安達 明美	市町村認知症担当者及び認知症地域支援推進員研修	リモート研修
	29	あおぞら	岡本 智恵	県保育士等キャリアアップ研修マネジメント①	県生涯学習センター
	29	あおぞら	阿部 紗織	子どもと創る生活科授業の在り方	県総合教育センター
	29	スマイル	栗林 美佳	OJTリーダー研修	社会福祉会館
11	2	ヘルパー	石垣 昌子	介護従事者研修	湯沢文化会館
	2	くるみ	佐藤真紀子	介護従事者研修	湯沢文化会館
	2	あおぞら	木村 雅代	教頭・主任等研修会	リモート研修
	4	あおぞら	佐藤 啓子	県保育士キャリアアップ研修（～5日）	浅舞公民館
	9	小規模	樋渡 博子	福祉保健施設・事業所等看護職員研修	社会福祉会館
	10	あおぞら	新山 美喜	新任特別支援教育コーディネーター研修	リモート研修
	18	スマイル	加藤美紀子	社会福祉キャリアパス対応生涯研修課程管理者コース（～19日）	社会福祉会館
	18	在介	藤原 寿子	第4回事例検討会	湯沢市役所
	18	くるみ	高橋 千穂	第4回事例検討会	湯沢市役所
	30	あおぞら	佐々木和恵	県保育士キャリアアップ研修	リモート研修
	30	あおぞら	佐藤 啓子	児童福祉施設給食担当職員研修	美里音
	30	健寿苑	齊藤 葉子	介護施設等看護実務者研修	リモート研修
12	1	事務局	滝 和也	身近なたすけあい活動を考える いなかわささえあい	川連漆器伝統工芸館
	1	在介	加藤 直美	身近なたすけあい活動を考える いなかわささえあい	川連漆器伝統工芸館
	1	あおぞら	佐々木和恵	県保育士キャリアアップ研修	リモート研修
	3	健寿苑	井上久美子	第1回医療・介護従事者向け研修	湯沢ロイヤルホテル
	5	健寿苑	佐藤美乃理	湯沢市認知症キャラバン・メイト養成研修	湯沢市役所
	5	小規模	安達 明美	湯沢市認知症キャラバン・メイト養成研修	湯沢市役所
	5	ヘルパー	小野寺公子	湯沢市認知症キャラバン・メイト養成研修	湯沢市役所
12	8	健寿苑	近野 功	第1回地域共生人材育成研修	湯沢グランドホテル
	10	健寿苑	齊藤 葉子	新型コロナウイルス対策から学ぶ感染対策の実践ポイント	雄勝中央病院
	23	健寿苑	近野 功	北海道・東北ブロックカントリーミーティング	リモート研修
	23	事務局	古関 司	社会福祉法人会計決算実務者研修会	秋田キャッスルホテル
	23	事務局	滝 和也	社会福祉法人会計決算実務者研修会	秋田キャッスルホテル
	25	小規模	高橋 繁美	認知症者の睡眠障害について	県立リハビリテーション

R4					
1	12	健寿苑	近野 功	湯雄老施協施設長等会議	リモート研修
	17	あおぞら	近藤 汐美	県保育士会食育研修	リモート研修
	19	健寿苑	近野 功	湯沢市介護保険運営協議会	湯沢市役所
	20	事務局	三春 香織	改正育児・介護休業法等説明会	平鹿生涯学習センター
	20	くるみ	佐藤真紀子	第6回事例検討会	湯沢市役所
	20	くるみ	佐藤由美子	第6回事例検討会	湯沢市役所
	20	舞夢	福原恵里子	第6回事例検討会	湯沢市役所
	21	くるみ	阿部 真美	介護支援専門員と相談支援専門員との連携を深める研修	湯沢グランドホテル
	27	あおぞら	藤原 芙美	第24回カウンセリングセミナー	リモート研修
	28	健寿苑	近野 功	県老人福祉施設長研修①	リモート研修
	29	くるみ	佐藤由美子	初任者フォローアップ研修①	リモート研修
	29	くるみ	高橋 千穂	初任者フォローアップ研修①	リモート研修
2	12	くるみ	佐藤由美子	初任者フォローアップ研修②	リモート研修
	12	くるみ	高橋 千穂	初任者フォローアップ研修②	リモート研修
	24	在介	加藤 直美	第2回セミナーみよりがない方への支援を考える	リモート研修
	24	舞夢	福原恵里子	第2回セミナーみよりがない方への支援を考える	リモート研修
	24	くるみ	佐藤真紀子	第2回セミナーみよりがない方への支援を考える	リモート研修
	24	くるみ	佐藤由美子	第2回セミナーみよりがない方への支援を考える	リモート研修
	24	くるみ	阿部 真美	第2回セミナーみよりがない方への支援を考える	リモート研修
	24	くるみ	高橋 千穂	第2回セミナーみよりがない方への支援を考える	リモート研修
	24	くるみ	三浦美智子	第2回セミナーみよりがない方への支援を考える	リモート研修
	24	在介	藤原 寿子	第2回セミナーみよりがない方への支援を考える	リモート研修
3	4	事務局	三春 香織	障害者雇用納付金制度	横手ふれあいセンター
	8	健寿苑	齊藤 葉子	県高齢者看護研修	県生涯学習センター
	30	健寿苑	齊藤 葉子	医療的ケア教員講習会	リモート研修

6. 寄付状況

◎現金（福祉会全体）

年 月 日			氏 名	金 額	備 考
R3	6	28	K. Hさん	20,000	香典返し
R4	2	15	匿名（希望）	1,000,000	

◎現金（健寿苑・ケアセンター）

年 月 日			氏 名	金 額	備 考
R3	9	22	S. Tさん	30,000	香典返し
	12	15	A. Mさん	10,000	香典返し
R4	3	4	M. Mさん	50,000	香典返し

◎物品（福祉会全体）

年 月 日			氏 名	品 物	備 考
R3	6	22	JAこまち女性部 稲川・駒形支部 JAこまち助け合い組織ひなたぼっこ	タオル、ウエス、雑巾	

◎物品（健寿苑・ケアセンター）

年 月 日			氏 名	品 物	備 考
R3	5	14	F. Tさん	おむつ ほか	稲庭町
	5	24	S. Tさん	お茶 6 ケース	駒形町
	8	1	湯沢美容組合湯沢支部	お茶 1 ケース	
	8	28	O. Mさん	りんごジュース	川連町
	9	20	M. Mさん	ぶどう 2 箱	駒形町
	9	22	S. Tさん	タオル 50 枚	三梨町
	10	19	A. Oさん	おむつ	川連町
	10	25	湯沢美容組合湯沢支部	タオル 30 枚	
	11	9	K. Tさん	毛布 2 枚	川連町
	11	11	Nさん	おむつ 4 袋	横手市
	11	13	Y. Fさん	柿 5キログラム	駒形町
	11	18	S. Hさん	みかん 5キログラム	駒形町
	11	19	H. Tさん	昭和歌謡DVD	川連町
	11	30	M. Mさん	りんご 1 箱	駒形町
	12	22	古関プロパン	りんごジュース 60P	川連町
R4	1	9	K. Kさん	紙パンツ ほか	川連町
	1	17	Sさん	紙パンツ	三梨町
	1	19	Sさん	おむつ	川連町

◎物品（スマイルケアみつなし）

年 月 日			氏 名	品 物	備 考
R3	4	21	T. Kさん	孟宗だけ	川連町
	5	10	T. Mさん	にら、ふくたち	駒形町
	5	10	日赤稲川支部	タオル 20 枚	
	7	27	T. Kさん	すいか 2 玉	川連町
	9	1	S. Eさん	長寿お祝いセット	三梨町
R4	1	9	K. Kさん	紙おむつ、リハビリパンツ	川連町

◎物品（おおぞらこども園）

年 月 日			氏 名	品 物	備 考
R3	9	14	K. Hさん	栗 10 キログラム	稲庭町
	10	5	K. Hさん	栗 10 キログラム	稲庭町
	11	8	G. Tさん	王林 1 箱	横手市
	12	17	学研プラス	絵本	品川区
	12	29	G. Tさん	おもちゃ 15 個	三梨町

◎物品（学 童）

年 月 日			氏 名	品 物	備 考
R3	9	1	S. Kさん	除菌シート、除菌ジェル	三梨町

7. 消防・防災訓練及び自主点検実施

月 日	拠 点	実 施 項 目	内 容
5月17日(月)	あおぞらK i d's	避難訓練	自主訓練(地震想定)
6月24日(木)	スマイルケア	夜間想定避難訓練	自主訓練(避難訓練・通報連絡訓練・初期消火訓練)
6月25日(金)	旧健寿苑 ケアセンター	地下タンク漏洩点検	鈴木正俊商店に依頼
7月13日(金)	健寿苑 ケアセンター	消防設備点検	高義商會に依頼
9月22日(水)	健寿苑 ケアセンター	夜間想定避難訓練	自主訓練(地震による火災)
9月27日(月)	あおぞらK i d's	防犯訓練	自主訓練(不審者想定)
10月20日(水)	健寿苑 ケアセンター	日中想定防災訓練	稲川分署立ち合い
10月27日(水)	あおぞらこども園	避難訓練	稲川分署立ち合い
10月28日(木)	スマイルケア	通報訓練、消火訓練	自主訓練(土砂災害によるケアセンターへ避難)
R4 1月20日(木)	ケアセンター 健寿苑	消防設備点検	高義商會に依頼
毎月	あおぞらこども園	消防・防災訓練	年間計画に応じて実施

※ ボイラー点検 . . . 毎月(年12回)

※ 消火器点検 . . . 毎月(年12回)

8. 本部事務局

◎ 重点目標の実施状況

重 点 目 標	実 施 状 況
サービス体制の強化 ・ 目標管理制度と人事考課制度の充実 ・ 質の高い介護人財の確保・育成 ・ キャリアパスの整備	・ 5 月 目標管理面談、夏季賞与考課実施 ・ 6 月 近隣の高校進路指導担当者へ訪問 ・ 7 月 雄勝地域振興局主催の高校生企業博覧会に出展 ・ 11 月 冬季賞与考課実施 ・ 3 月 2 回目（最終）の目標管理面談実施
職員の健康増進 ・ 健康指導、ストレスチェック制度実施等により、健全な就業ができるよう取り組む	・ 全職員対象の職場健診実施（5/17、6/7） ・ 夜勤勤務職員の健診実施（11/1） ・ 全職員対象のストレスチェックの実施（10 月）
収入の安定的増加と経費の適正配分 ・ 看護師、介護福祉士などの資格条件を満たした職員配置 ・ 収入を基とした職員の配置	・ 9 月下半期人事異動実施（稲川地域統合放課後児童クラブ受託準備に伴い実施） ・ 3 月令和 4 年度人事異動実施
経営状況の把握 ・ 月次決算による経営検討会の開催 ・ 顧問税理士との月次・四半期ごとの財務状況確認 ・ 法人監事との定期的な財務状況確認	・ 経営検討会の実施（5 月・7 月・8 月・9 月 10 月・11 月・12 月・3 月） ・ 毎月末、顧問税理士が来所し指導を受けている ・ 監事会の実施（6 月・8 月・11 月・1 月）
福祉ニーズに対する事業展開の継続 ・ 施設整備などの状況の把握 ・ 各事業所、拠点の問題点の見直し	・ ケアセンター大規模改修ショートステイ 6 月完成、7 月から全面利用開始 ・ 中期経営改善について介護部幹部会議 4 回実施
法令遵守の徹底 ・ 内部監査の実施	・ リスクマネジメント委員会の実施（5 月） ・ 事業所法令遵守研修実施（5 月） ・ 顧問労務士の指導を受けている

◎会議開催報告

会議名	活動内容	開催日
理事会	業務執行、事業法人の策定、実施 経営、運営の提案 収支計算書、予算書の作成と報告 法人事業計画の作成と報告 設備投資計画、採用計画の提案	年 6 回
評議員会	定款変更等の承認 事業方針の承認 経営、運営の提案、承認 法人経営、運営に関する議決機関 収支計算書、予算書の報告、提案、承認 法人事業計画の承認 設備投資計画、採用計画の提案、承認 理事、監事の選任、解任	年 5 回
監事会	監査報告書の作成 財務諸表、事業報告の監査 理事業務執行の監査 法令遵守に沿った構成、適切な取引の確認 法人財務状況の確認	年 4 回
第三者委員会	苦情解決処理表をもとに報告、質疑応答 苦情解決について検討	年 1 回
経営検討会	事業報告、実績検討 月次の財務検討 その他	年 3 回
事務局会議	事務担当者における共通課題、重要課題に関する協議 を実施、具体的課題解決を図る	毎月 (顧問税理士来訪時に 連絡等を行う)

◎教育訓練プログラム

プログラム名	教育訓練内容	開催日
会計・税務等 勉強会	法律、会計、税、就労に関する知識向上を図る	年 2 回
外部研修	会計、日常業務に関する各種説明会、セミナーへの参加 法改正に関する説明会への参加	随時

9. くるみケアプランセンター

◎ 重点目標の実施状況

重 点 目 標	実 施 状 況
利用者の尊厳を守り、適正な居宅介護支援事業を展開する ・ 自立支援の観点、利用者本位を基本に支援する ・ 公平、公正な立場で専門的な知識をもって情報提供し、分かりやすい説明を心がける ・ 法令遵守、秘密保持を徹底する ・ 職員の資質の向上に努める	月1回の職員会議や週1回の特定事業所加算会議の開催を実施したほか、オンライン研修に参加。事業所内で必要な情報・知識の伝達や共有をし、様々な視点での意見交換を行いながら適正な支援の展開に努めた
関係機関と連携を図り、在宅生活が継続できるように支援する ・ 医療機関と連携し、退院後の迅速でスムーズな介護保険の利用を支援する ・ 医療ニーズの高い利用者へ適切なサービスの提供ができるように支援する ・ 市、地域包括支援センター、各事業所と連携する	コロナ禍での面会制限により、家族が本人の状態を把握できないまま退院するケースが増えた病棟や入退院支援室、ケースワーカー等との情報共有をより密に行い、退院後の介護保険サービスへスムーズに移行できるよう、医療機関をはじめとして、市やサービス事業所等と連携を図った
社会資源の把握と連携を強化する ・ 地域ケア会議での情報交換、情報提供を行う ・ 地域での見守り支援として近隣住民の方々と協力体制を作り、インフォーマルな社会資源の開拓を進める	コロナ禍により、地域ケア会議が中止になった際は、書面で参加した 他居宅介護支援事業所との共同開催による事例検討会を通じて、地域の実情の理解と社会資源の把握に努めた コロナ感染対策を十分に行いながら、見守りネットワークへの協力をはじめ、個別の事例での見守り支援の協力体制の構築を今後も継続していく

◎実績報告

	延べ件数			月平均件数		
	介護給付	予防給付	総合事業	介護給付	予防給付	総合事業
ケアプラン数	2,124	315	369	177	26	30
調 査	233			19		
新規利用者数				74 人		

◎会議開催報告

会議名	活動内容	開催日
ケアマネ会議	前月の実績を考える 在宅介護支援センターから最近の動向 困難事例等ケース検討 研修報告 その他	月 1 回
ミーティング	各自の予定の確認 他事業所からの連絡	毎日
伝達会議	利用者に関する情報またはサービス提供にあたっての 留意事項に係る伝達	週 1 回
事業内研修	認知症や新たな制度についての勉強会の開催	各種研修参加 (職員研修に記載)
事例検討会	地域包括支援センター等が開催する事例検討会への参加 他居宅介護支援事業所と共同での事例検討会主催 主任ケアマネからの助言、指導	6/17、11/18、1/20

◎教育訓練プログラム

プログラム名	教育訓練内容	開催日
専門研修課程 1	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の 設定 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状 対人個別援助技術及び地域援助技術演習	対象者なし
専門研修課程 2 更新研修	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表	9/14～17
研修会	講演及び演習	各種研修参加 (職員研修に記載)
主任介護支援専門 員研修	主任介護支援専門員としての役割と視点 人材育成及び管理 運営管理におけるリスクマネジメント 地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク） 医療との連携及び多職種共同実践	対象者なし
主任介護支援専門 員更新研修	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向 主任介護支援専門員としての実践の振り返り及び支援 の実践	対象者なし

10. 稲川在宅介護支援センター

◎ 重点目標の実施状況

重 点 目 標	実 施 状 況
地域課題への支援の実施 ・ 地域課題把握等のため、民協定例会へ参加 ・ サポーターによる定期的な訪問活動で得た情報の把握や社協との連携を図る	・ 民協定例会に参加し、市のケア会議などの情報を提供し、課題に対しては適切なアドバイスを行い連携を図った。また、会議で得た情報を必要な機関に提供した ・ サポーター会議で出た課題や問題に対し、必要なサービス機関に紹介した。社協が行う第2層の生活支援体制整備事業の会議に参加した
ケア会議の開催と包括支援センター事業への協力 ・ 定期的なケア会議の開催により、参加者間の情報共有を図り地域課題を把握する ・ 市ケア推進会議に参加し、市の他地区の情報を得たり、包括の事業への協力を行う	・ 定期的にケア会議を開催し情報交換を行い、地域課題を把握し、市の推進会議に問題提起を行った ・ 市推進ケア会議に参加し、他地域の情報収集を行い、地域ケア会議にて報告を行った ・ 包括主催の医療・介護連携推進会議や認知症支援推進会議などに参加協力をした
相談支援業務の強化のため介護保険事業所及び支援事業所との連携 ・ 迅速な相談援助を行い、適切な支援事業所に繋げる ・ 居宅と連携を密にしていく	・ どのような相談にも対応し、適切な相談機関などに繋げた ・ 介護保険の相談員には素早く適切な支援を行い、実際のサービス利用時に、居宅の担当者に繋ぐことで円滑なサービス利用に繋げた

◎相談実績

相談内容	相談件数	相談内容	相談件数
介護保険サービス	67	施 設 入 所	2
福 祉 一 般	1	医 療（入院）	24
権利擁護・虐待	0	総合支援サービス	1
介護（看護）相談	1	そ の 他	3
合 計		99 件	

◎会議開催報告

会議名	活動内容	開催日
地域ケア会議	地域の情報交換、市ケア会議の報告	毎月第2水曜日
市ケア推進会議	地域ケア会議の報告、市介護保険事業の動向	毎月第4木曜日
エリア会議	安心生活創造事業の訪問員と社協との情報交換	毎年3月予定だが R3年度はコロナの為 中止

◎教育訓練プログラム

プログラム名	教育訓練内容	開催日
包括在介職員研修	包括ケア・地域福祉について	6月（羽後町）
東北ブロック研修	地域共生社会の実現にむけて	中止
包括在介職員現認者研修	医療・介護・福祉の連携 グループワーク 成年後見制度について	11月（リモート）
地域包括・在宅介護支援センター協議会研修	我が事・丸ごとの仕組みづくりについて	5月（リモート）

11. 特別養護老人ホーム健寿苑（短期入所含む）

◎ 重点目標の実施状況

重 点 目 標	実 施 状 況
入居（利用）者一人ひとりの個性や生活リズムに応じ、「その人が望む生活」を実現できるように努める ・入居（利用）者に寄り添う気持ちを大事に、その人の生活と向き合う	・新施設での運営が令和 3 年度よりスタートしたが、年度を通して大きな事故や入居者家族からのクレーム等もなく順調な一年だった ・サービス面では今まで培ってきた寄り添いのケアを大事にし、その人が望む生活を実現できるように心がけた
これまでのユニットケア的趣旨を活かし、医療的ケア、看取り介護、口腔ケア等、職員共通の知識・技術の向上を図る ・外部研修への参加、施設内研修の開催を通し、職員の質の底上げを図る	・令和 3 年度における健寿苑の看取り者数は 9 名（退所者 15 名中）看取り期の職員連携はスムーズに実施でき、最後までその方を敬うケアを提供できた。医療ケア、看取り介護、口腔ケア等職員にはしっかりと浸透しており、今後も情報共有、技術の向上を図っていく ・研修に関しては令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症対策により、外部研修の多くがオンライン形式での受講という形となった。しかしながら、自宅等でパソコン、携帯電話から視聴できる研修を秋田県、秋田県老協が準備してくれたおかげで、介護現場の職員が接遇やコンプライアンス、リスクマネジメント、高齢者虐待防止等に関する動画を視聴する事ができた。内部研修としては、8 月にソフト食研修、9 月に『LIFE』に関する研修、11 月におむつ交換、陰部洗浄研修、1 月に床ずれ予防研修、2 月に研修報告会を実施した
新施設における地域的役割の確立 ・新施設開所にあたり、新しい環境に入居者が戸惑わないよう、十分な配慮をし、ご家族からの理解・協力が得られるよう万全の体制を整える ・地域における施設の役割を情報発信し在宅介護から特養入居まで、介護ニーズに沿ったスムーズな介護サービスが提供できるよう、柔軟性のある運営を心掛ける	・新施設に関しては、内覧会等をとおして入居者家族等にご覧いただいたが、『個室的』な多床室でプライバシーにも配慮されており、利用料金も大きく変わらない部分で喜ばれた ・開所 2 か月程は入居者も環境の変化に戸惑いを見せていたが、徐々に慣れ現在では落ち着いた生活を送っている ・地域的な役割の確立については、コロナ禍により地域との交流ができず残念であったが、敬老月間には駒形自治区、駒形小学校の児童より健寿苑入居者にお祝いの手紙と記念品が贈呈された。その他、個人情報には十分に配慮した上で SNS 上での施設内の行事風景や取り組み等も配信させていただいた ・地域住民からも新施設については、よく質問されることがあり、住民の興味の高さを感じ取れた令和 3 年度だった

◎実績報告

長期入所	延べ利用者数	月平均	短期入所 (予防含)	延べ利用者数	月平均
介護保険	16,025	1,335	介護保険	1,306	109
新規利用者数 24 人 (稼働率 91.5%)			新規利用者数 8 人 (稼働率 89.5%)		

◎会議会開催報告

会議名	活動内容	開催日
専門部会	苑内における重要課題について話し合い、課題解決を図る	毎月最終火曜日
介護部会	介護部門における重要課題について話し合い、課題解決を図る	毎月下旬実施
ユニット会議	ユニット内（北町・南町）における重要課題について話し合い、課題解決を図る	毎月中旬実施

◎委員会開催報告

委員会名	活動内容	開催日
行事・レクリエーション委員会	納涼祭、忘年会等行事の企画、運営、実施 利用者が楽しめるレクリエーション（通常レク・花見・紅葉ドライブ・来訪）の企画、運営、実施	9 回実施 (7/27, 8/17, 9/6, 9/28, 10/21, 12/6, 1/8, 2/21, 3/23)
身体拘束・安全対策委員会	利用者の身体拘束、安全確保、事故発生時の最善の対処方法を検証、再発防止等検討	6 回実施 (5/26, 6/30, 9/2, 10/26, 1/12, 3/23)
介護サービス向上委員会	業務等の検討・改善、個別ケアの実践等、介護サービスの向上を図る 排泄ケア向上、褥瘡対策を検討	5 回実施 (5/8, 7/13, 10/2, 1/26, 2/4)
口腔ケア・食事委員会	口腔ケアの推進や知識・技術向上 食事に関する検討、企画、改善	食事関係 . . . 毎月実施 口腔ケア . . . 3 回実施
感染症対策委員会	感染症対策指導、研修実施	4 回実施 (5/4, 10/19, 11/4, 11/10)
環境整備委員会	施設全体をきれいに住みやすい環境づくりを行う	3 回実施 (4/24, 8/2, 3/19)

※その他、法人全体の委員会にも参加

◎教育訓練プログラム（外部）

プログラム名	教育訓練内容	開催日
階層別研修	5. 職員研修を参照	
各種専門研修		

◎教育訓練プログラム（内部）

プログラム名	教育訓練内容	開催日
新人・異動職員研修	業務全般、利用者緊急時の対応、書類の書き方、法令遵守、個人情報保護等	実施なし
口腔ケア知識・技術向上研修	歯科医師会や食介護研究会より講師を招き、口腔ケア知識・技術向上のための研修、口腔ケア総論（講義）、実技指導等	口腔ケアで歯科医師からの指示等を随時報告・掲示
感染症対策研修	コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等感染症について学び、具体的な対処・処理方法を習得する	職員会議等で随時実施 法人衛生管理委員会からの通知を周知
給食担当者知識・技術向上研修	食事に関する知識・技術向上のための研修	8. 25 実施 ソフト食について
参加研修報告会	参加した研修内容を全職員に伝え現場で実践するための研修 （主な報告内容・・・法令遵守、看取り介護、虐待防止、介護記録、キャラバンメイト、認知症、コロナウイルス、ポジショニング（床ずれ予防）等について報告）	2. 16 実施 参加者 23 名
その他	「LIFE」に関する研修 おむつ交換・陰部洗浄研修 床ずれ防止	R3. 9. 1 実施 R3. 11. 17 実施 R4. 1. 20 実施

12. いなかわ福祉会ヘルパーステーション

◎ 重点目標の実施状況

重 点 目 標	実 施 状 況
利用者、家族が安心して在宅生活できるための支援 ・利用者や家族が、安心して日常生活をおくることができるよう支援する	・コロナ禍で他のサービスを利用できなかった際には訪問のサービスを利用してもらうなど、状況に応じたサービスを行った ・利用者、家族が安心して暮らせるように努めた
安定した経営の構築に努める ・安定したサービスが出来るように色々な面から情報を得て、必要時いつでも利用できるよう対応する	・訪問キャンセルの連絡があっても時間や曜日変更で調整をし、休んでいる利用者には電話を入れるなど調整を行った ・新規の利用も積極的に受け入れサービスに繋げた

◎実績報告

		延べ利用者数	月平均
介護保険	身体介護	4,494	375
	生活援助	1,453	121
	身体生活	493	41
介護予防（花ごころ）		1,521（77）	128（6）
軽度生活援助		0	0
自立支援（障害）		528	64
新規利用者数		・・・	37 人

◎会議・委員会開催報告

会議名	活動内容	開催日
ヘルパー会議	利用者についての情報交換 困難事例等ケース検討 研修報告 その他	毎週火曜日
職員会議	前月の実績を考える 他事業所からの連絡 ケアマネへの提言	月1回
安全委員会 (障害福祉サービス事業所)	利用者の状態の共通認識や確認 喀痰吸引等の実施状況の把握	毎月

◎教育訓練プログラム

プログラム名	教育訓練内容	開催日
ミニ研修	年間計画のテーマに沿って実施	月末火曜日
事業所全体研修	救急救命、介護技術など	実施なし
サービス提供責任者研修	サービス提供責任者の業務のあり方	実施なし
新任研修	訪問介護の概要、業務内容 行動基準 各種書類、記録の書き方	実施なし

13. ケアセンターいなかかわデイサービス

◎ 重点目標の実施状況

重 点 目 標	実 施 状 況
質の高いサービスの提供 ・接客技術の向上（言葉遣いと接遇マナーについて） ・担当制の継続と通所介護計画の把握による個別ケアの実施 ・季節を大切にした行事の実施 ・健康づくりのための軽体操、口腔体操、フットケア、口腔機能訓練、機能訓練の実施	・接遇や言葉遣いは、利用者一人ひとりに分かりやすく失礼のない対応を職員各自が心がけ、利用者個々の希望に沿ったサービス提供に努めた ・チーム担当制を継続し、定期的にモニタリングを行い、通所介護計画に応じた個別ケアを実施した ・コロナ禍を考慮し、花見はドライブ中のおやつタイムをとらずに実施し、紅葉ドライブは中止した
安定した経営 ・業務内容やサービス内容の見直しによる人員配置の再構築 ・新規利用者の積極的な受け入れ ・居宅事業所への空き情報の提供と柔軟な受け入れ	・新規利用、利用回数増の希望はほぼ受け入れできたが、入院や死亡等による利用減が大きく、計画の実績に届かなかった ・業務内容の見直しとして、本部事務局職員の指導のもと、記録作業のIT化を進めた
職員スキルの向上と人材育成 ・職員会議における研修の実施（毎月） ・研修のチーム担当制の継続 ・通所介護における各種制度やサービスの法的解釈の研修 ・新人職員の計画的な人材育成	・毎月テーマを決め、内部研修を実施した ・コロナ禍の影響もあり、外部研修には1つしか参加できなかったが、中堅研修を受講することができた

◎実績報告

	延べ利用者数	合計	月平均
介護保険	5, 539	7, 025	462
総 合	1, 486		124
新規利用者数 ・ ・ ・ ・ 45 人			

◎会議開催報告

会議名	活動内容	開催日
職員会議	実績報告 事例検討 サービス内容の見直し 各種報告 各種研修	毎月下旬

◎教育訓練プログラム

プログラム名	教育訓練内容	開催日
新任・新人研修	デイサービスの概要 業務内容 各種書類、記録の書き方 行動基準	実施なし
倫理・法令遵守について	職員が守るべき倫理や法令	5月31日
身体拘束研修	身体拘束の排除について	1月31日
認知症ケア研修	認知症や認知症ケアについて	7月24日
食中毒についての研修	食中毒の発生事例、ヒヤリハット等の検討 食中毒のまん延防止及び予防	6月30日
非常災害時の対応研修	非常災害発生時の対応	11月29日
プライバシー保護について	利用者のプライバシー保護の取り組み	9月25日
事故発生緊急時の対応の研修	事故の発生等緊急時の対応	8月21日
事故の発生予防と再発防止の研修	事故の発生予防や再発防止	8月21日
感染症についての研修	感染症の発生事例、ヒヤリハット等の検討 感染症のまん延防止及び予防	10月27日
事故・ヒヤリハット事例の検討	事故やヒヤリハットの事例検討	2月28日
法令や制度の研修	デイサービスに関する法令や制度について	5月31日
接遇マナー研修	利用者と顧客に対するおもてなしの精神や接遇マナーについて	実施なし
口腔ケア	口腔ケアの推進や知識・技術向上 食事に関する検討	12月21日

14. ケアセンターいなかかわショートステイ

◎ 重点目標の実施状況

重 点 目 標	実 施 状 況
尊厳ある利用者に敬意を払った謙虚な姿勢で、安全安心で質の高いサービスを提供する ・利用者に敬意を払い、謙虚な姿勢と丁寧な言葉遣いで接する ・安全で安心なケアを行う為に、介護技術の研修会を行う ・個別の様態や要望に対応するため、ケアプランと個別援助計画書に沿ったケアを行い、記録をする ・サービスの質の向上と課題把握のために、サービスの自己評価や内部・外部研修を行う	・コロナ禍のために、ほとんど研修に参加することができなかったが、利用者へ謙虚な姿勢と丁寧な言葉遣いで安全安心に過ごしてもらえるように努めた ・個々の状況について情報共有を行い、ケアプランと個別援助計画書に沿ったケアと記録を行った ・内部研修を月1回実施し、介護現場における各種情報、知識向上に努めた
統一されたサービスを提供するため、職員同士で情報の共有を行う ・統一されたケアを行うため、職員間で日常的な情報共有の工夫や会議での確認を行う	・口頭やノートを使用しての申し送りにより職員同士での情報共有を行い、統一されたケアやサービスを行うように努めた ・令和3年度より介護記録の電算化に力を入れ情報管理が浸透した
経営安定のために積極的な受け入れを行う ・新規利用者の積極的な受け入れを行う ・リピーターの確保に取り組む ・居宅介護支援事業所へ空床情報を細やかに提供し、柔軟な受け入れを行う	・6月にエアコン改修工事を実施、入所者の受入れを一時的に制限したため、数字の落ち込みが見られたが、9月以降は稼働率も順調に上がり、年明けには9割以上の稼働に戻った ・新規利用者の受入れやキャンセルが出た際の臨時利用等、空床を減らすよう心がけ収益の増収に努めた

◎実績報告

	延べ利用者数	合計	月平均
介護保険	5,774	6,022	481.2人
予 防	248		20.7人
障 害	12	12	1.0人
新規利用者数		36人	

◎会議開催報告

会議名	活動内容	開催日
職員会議	実績報告 委員会報告 内部研修 研修報告 ユニット会議報告	毎月下旬実施
リーダー会議	ユニット会議報告 介護職員、看護職員、相談員からの問題点や方向性の確認 その他 業務の見直し	毎月中旬実施
ユニット会議	ケースカンファレンス モニタリング 困難事例検討会 行事（年間）	毎月中旬実施

◎教育訓練プログラム

プログラム名	教育訓練内容	開催日
コンプライアンス研修	介護保険事業所としての法令遵守	4月30日
プライバシー保護について	利用者のプライバシー保護の取組みについて	5月28日
食中毒について	食中毒の発生事例、ヒヤリハット等の検討 食中毒発生の予防及びまん延防止	6月25日
認知症について	認知症や認知症ケアについて	7月30日
身体拘束について	身体拘束について	8月26日
PCトラブルについて	パソコントラブル時の対応について	8月26日
非常災害時の対応について	非常災害発生時の対応について	9月28日
カテーテル、夜間対応について	膀胱留置カテーテルについて 夜間の緊急時の対応について	10月29日
ノロウイルスについて	ノロウイルスの発生事例検討 発生防止及びまん延防止について	11月30日
看取りについて	ターミナルケアについて	12月24日
食事介助研修	食事介助について	1月27日
介護技術研修 （入浴介助編）	入浴介助について	2月28日
服薬研修	服薬マニュアルの再確認	3月24日

15. 配食サービス

◎ 重点目標の実施状況

重 点 目 標	実 施 状 況
安心して在宅での介護、生活ができるようサポートする ・ 衛生的で栄養のバランスがとれた食事での栄養改善や健康維持を目的とする ・ 高齢者世帯や一人暮らしの方の安否確認	・ 衛生に配慮し、食材、調理工程での加熱や冷却、消毒等適切に行った ・ 配達時の安否確認を行った
食事の個別ケアに努める ・ 高齢者向けのメニュー、味付け、食形態で提供 ・ 粥、刻み食等の対応 ・ アレルギーや禁止食品の除去、代替食提供	・ 和食中心の献立で季節感のあるメニューを多く取り入れた ・ 刻み食や代替食の提供を行った
総合事業の目的に沿い、的確な支援に努める ・ 地域包括支援センター、他職種と連携し、配食も多様化した支援の一部であることを自覚し、食事作りに取り組む	・ 定期の利用の他、臨時の利用等にも柔軟に対応し、一人ひとりの生活習慣、暮らしに沿った食事提供に取り組んだ

◎実績報告

	件 数	おかず	弁 当	実人数
4 月	265	135	130	17
5 月	275	139	136	16
6 月	276	145	131	17
7 月	277	156	121	20
8 月	264	163	101	22
9 月	271	167	104	22
10 月	319	198	121	24
11 月	284	169	115	22
12 月	279	155	124	23
1 月	288	149	139	26
2 月	265	171	94	23
3 月	300	211	89	23
合 計	3,363	1,958	1,405	255

16. 健寿苑サテライト型特別養護老人ホームスマイルケアみつなし

◎ 重点目標の実施状況

重 点 目 標	実 施 状 況
個別の生活リズムを大切にして、その人らしい生活を送ることができるようにする ・入居者それぞれが自分らしく暮らすことができるように 24 時間シートを活用した個別ケア・ユニットケアをすすめる ・入居者が楽しみを持って暮らすことができるように、様々な行事や活動を企画・実施する	・担当制により個々の状況を把握し、その人に合ったケアを行った ・外出ドライブは出来なかったが、誕生会や敬老会、豆まき等で楽しんでいただいた
質の高い統一されたサービスを提供するため、職員同士で情報の共有を行い、職員の接遇や介護技術、介護の質の向上を図る ・統一されたケアを行うため、職員間での情報共有を行う ・介護の質の向上を図るため、職員の接遇や知識、技術を高めることができる研修会を定期的に行う	・24 時間シートの活用と申し送りノートで情報共有に努めた ・外部研修はコロナ禍でほとんど出来ず、職員会議等の内部研修を行い、介護の質の向上に努めた
地域との結びつきを大切にし、入居者や家族等、事業所との交流の機会を設ける ・地域住民や家族等が参加できる行事を実施したり、入居者が地域のお祭り等に参加したりして、地域との交流を図る	・コロナ禍により行事やお祭り等も行えなかった

◎入居者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
人 数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

◎実績報告

長期入所	延べ利用者数	月平均
介護保険	6,695	558
新規利用者数 6 人 (稼働率 96 %)		

◎会議開催報告

会議名	活動内容	開催日
職員会議	全職員で共通課題・重要課題について話し合い、課題解決を図る	毎月1回
リーダー会議	介護部における重要課題について話し合い、課題解決を図る	毎月1回
ユニット会議	ユニットごとにおける重要課題について話し合い、課題解決を図る	毎月1回
運営推進会議	地域代表、民生委員、市職員、利用者家族と話し合い、より良い運営推進を図る	奇数月

◎教育訓練プログラム

プログラム名	教育訓練内容	開催日
ユニットケアに関する研修	ユニットケアについての研修	4月
緊急時の対応についての研修	オンコール体制と夜間の緊急時の対応についての研修	4月
倫理法令遵守研修	倫理や法令、職員心得、規程等に関する研修	5月
医療に関する教育研修	医療に関する知識や業務分担等、教育や研修	5月
食中毒について	食中毒の発生事例、ヒヤリハット等の検討 食中毒のまん延防止及び予防について	6月
薬について	薬についての研修	6月
身体拘束適正化の研修	身体拘束適正化について	7月、10月
認知症ケア研修	認知症や認知症ケアについて 認知症の最新の知識等について	7月
事故・ヒヤリハット事例の検討	事故やヒヤリハットの事例検討について	1月
事故の発生予防と再発防止の研修	事故の発生予防や再発防止について	1月
接遇マナー研修	接遇マナーについて	8月
非常災害時の対応の研修	非常災害発生時の対応について	9月
プライバシー保護の研修	利用者のプライバシー保護の取り組みについて	3月

プログラム名	教育訓練内容	開催日
感染症研修	感染症の発生事例、ヒヤリハット等の検討について 感染症のまん延防止及び予防について	11 月
ターミナルケアに関する研修	ターミナルケアと精神的ケアに関する研修	2 月
事故発生緊急時の対応の研修	事故の発生等緊急時の対応について	1 月
事故の発生予防と再発防止の研修	事故の発生予防や再発防止について	1 月
身体拘束適正化の研修	身体拘束適正化について	7 月、10 月
法令や制度の研修	地域密着型特別養護老人ホームに関する法令や制度について	6 月
介護技術の研修	介護技術について	12 月

17. 小規模多機能型居宅介護スマイルケアみつなし

◎ 重点目標の実施状況

重 点 目 標	実 施 状 況
住み慣れた地域でその人らしい暮らし方を支えていく ・利用者や家族の意向に沿った計画書のもと支援し、その都度評価・見直しを行う ・季節行事の提供や軽体操等の機能訓練を行い、利用者の心身の健康づくりに努める ・利用者と地域の関係が途切れないように、これまでの周囲との関わりを継続しながら支援する ・介護の質の向上を図るため、職員の接遇や知識、技術等の内部・外部研修を計画的に実施する	・コロナ禍により外出行事が実施できず事業所内での活動が多かった。室内でできる軽体操を行い体力が低下しないよう努めた ・ご本人の状態変化に合わせて計画書の見直しやサービス内容の変更を行い、在宅生活が継続できるよう支援した ・研修は、年間研修計画に沿って計画的に実施した
地域に根差した事業所になれるように、地域との連携を図る ・運営推進会議を定期開催し、事業所運営やサービス内容に対して助言いただき、質の向上を図る ・地域行事や施設内行事での交流を通して、地域や家族等との関係づくりに努める ・地域の方と一緒に防災訓練を実施し、災害時における連携や協力ができる体制づくりに取り組む	・コロナ禍により定期的な運営推進会議の開催はできなかったが、毎年行っている事業所サービス評価により助言をいただき、改善できる業務の見直しを行った ・コロナ禍により、地域行事、家族との関係づくり、地域の方と一緒に防災訓練を実施するなどできなかった
継続できる事業となる行動をとる ・業務内容の見直しを行う ・関係機関へ空き情報の提供を行い、新規利用者の積極的な受け入れを行う	・ミーティングや会議等で業務内容の見直しを行い改善に努めた ・利用回数を多く求める新規利用者の相談が多く、迅速に受入れることはできなかったが、受け入れ枠の調整を行いつつ、新規受け入れを行った

◎登録利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人 数	8	8	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8

◎実績報告

	延べ利用者数	月平均
介護保険	1,982	165
新規利用者数 4 人		
(稼働率 68.8%)		

◎会議開催報告

会議名	活動内容	開催日
職員会議	全職員で事例検討や重要課題について話し合い利用者に関する情報共有や留意事項についての意見交換、各種委員会及び研修報告を行う	月 1 回
運営推進会議	地域代表、民生委員、市職員、利用者家族に参加いただき、各サービスの活動状況を報告し、事業所の運営に対する評価、要望、助言によりサービスの質の確保及び適切な運営を目指す	奇数月

◎教育訓練プログラム

プログラム名	教育訓練内容	開催日
緊急時の対応について	緊急時及びオンコール体制と夜間の緊急時の対応についての研修	4 月
倫理及び法令遵守について	従業者が守るべき倫理、介護サービスに関連する各種法令等について	5 月
食中毒について	感染症及び食中毒の発生予防及びまん延防止に関する研修、事例検討等	6 月
成年後見制度について	成年後見制度に関する知識の習得	8 月
事故の発生または事故再発防止について	事故の発生予防またはその再発防止に関する研修、虐待について	8 月
非常災害時の対応について	火災、風水害、地震等による非常災害発生時の対応についての研修	9 月
プライバシー保護の取組みについて	利用者のプライバシー保護の取組みについて	10 月
感染症等のまん延防止及び予防について	感染症の予防及びまん延防止について	11 月
身体拘束等の排除について	身体拘束の排除に向けた取組みや制度の理解、事例検討等	12 月
認知症及び認知症ケアについて	認知症及び認知症ケアに関する研修 認知症高齢者に対する配慮や接し方等	R4. 1 月
介護技術について	介護技術の習得について	2 月
医療について	利用者の健康を維持するための医療に関する知識や理解を深める	3 月
ターミナルケアについて	ターミナルケアについて	3 月
新任の従業者を対象とする	新任の従業者に対する研修	6 月

18. ヘルスカフェ舞夢

◎ 重点目標の実施状況

重 点 目 標	実 施 状 況
質の高いサービスの提供 ・接客技術の向上（言葉づかいと接客マナーについて） ・定期的な体力測定の実施・評価と個別目標の見直し ・運動機能訓練技術の習得と機能訓練の実施 ・感染症予防対策の徹底	・言葉遣いや接客については十分に配慮して対応した ・定期的に体力測定を行い利用者の状態の把握をし、個別に面接を行い個別目標の見直しを行った ・利用者の状態に適した運動内容を検討し実施した ・昨年度実施したアンケート結果を参考に業務改善、サービス内容の見直しを行った
安定した経営 ・新規利用者の積極的な受け入れ ・居宅介護支援事業所や関係機関への情報提供の実施	・積極的に新規利用者の受け入れを行い、安定した運営に努めた ・地域ケア会議や職員会議を通して居宅介護支援事業所や包括支援センターへ情報提供を行い、新規利用者の受け入れに努めた
職員のスキル向上と人材育成 ・職員会議における検討会や研修の実施 ・各種制度やサービスの法的解釈の研修	・毎月の職員会議にて個々の利用者の検討を行い、情報の共有を図り支援を行った ・その都度、制度について関係機関に確認し、職員会議で報告を行った。定期的に勉強会も実施した

◎実利用者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
人 数	71	73	73	74	75	76	76	72	71	68	60	67

◎実績報告

	延べ利用者数	月平均
介護保険	2,863	239
新規利用者数 8 人 （稼働率 59.8 %）		

◎会議開催報告

会議名	活動内容	開催日
職員会議	実績報告、事例検討、個別機能訓練計画の検討	毎月1回

◎教育訓練プログラム

プログラム名	教育訓練内容	開催日
倫理・法令遵守	守るべき倫理や法令について	R3. 6. 17 実施
身体拘束について	虐待・身体拘束の防止について	R3. 8. 31 実施
個人情報利用保護について	個人情報の取り扱いについて	R3. 10. 26 実施
事故発生・緊急時対応研修	事故発生や緊急時の対応について	R3. 11. 30 実施
法令や制度の研修	介護予防、日常生活総合支援事業に関する法令や制度について	R3. 4. 27 実施
職員研修	介護予防に関する研修	R3. 9. 28 実施

19. 舞夢ケアプランセンター

◎ 重点目標の実施状況

重 点 目 標	実 施 状 況
利用者の尊厳を守り、適正な居宅介護支援事業を展開する ・ 自立支援の観点、利用者本位を基本に支援する ・ 公平、公正な立場で専門的な知識をもって分かりやすい説明を心がける ・ 法令遵守、秘密保持を徹底する ・ 職員の資質の向上に努める	・ 利用者が住み慣れた自宅で、持っている能力を活かしながら自分らしく生活できるようなプランの作成に努めた ・ 法令遵守や秘密保持については研修を行い、知識や意識の向上に努めた
関係機関と連携をしながら在宅生活が継続できるように支援する ・ 医療機関と連携し、退院後の迅速でスムーズな介護保険の利用を支援する ・ 医療ニーズの高い利用者へ適切なサービスの提供ができるように支援する ・ 市、地域包括支援センター、各事業所と連携する	・ 入退院時は病院と連携を図り、話し合いにも可能な限り参加し情報の提供や収集を行い、退院後の生活がスムーズに行えるように支援した ・ 話し合いができない時には、電話等で情報共有を行った ・ 関係機関と密に連携を取り、情報交換や状況の把握に努めた
社会資源の把握と連携を強化する ・ 地域ケア会議での情報交換、情報提供 ・ 地域での見守り支援として近隣住民の方々と協力体制の構築	・ 地域ケア会議に参加し、地域課題の把握に努め、必要な情報提供を行った。参加できない時には、開催者と連絡を取り情報提供に努めた

◎実績報告

	延べ件数			月平均件数		
	要介護	予防	総合	要介護	予防	総合
ケアプラン数	154	61	886	13	5	74
相談	5					
調査	16					
新規利用者数				21 人		

◎会議開催報告

会議名	活動内容	開催日
ケアマネ会議	前月の実績を考える 在宅介護支援センターから最近の動向 困難事例等ケース検討 研修報告 その他	月 1 回
ミーティング	各自の予定の確認 他事業所からの連絡	毎日
伝達会議	利用者に関する情報またはサービス提供にあたっての 留意事項に係る伝達	月 1 回
事業内研修	認知症や新制度についての勉強会の開催	実施なし
事例検討会	地域包括支援センター等が開催する事例検討会への参加 他居宅介護支援事業所と共同での事例検討会主催 主任ケアマネからの助言、指導 等	R4. 1. 20 実施

◎教育訓練プログラム

プログラム名	教育訓練内容	開催日
専門研修課程 1	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の 設定 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状 対人個別援助技術及び地域援助技術 ケアマネジメントの演習 等	R4 年度実施予定
専門研修課程 2 更新研修	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表	R4 年度実施予定
研修会	講演及び演習	9/1, 9/27, 2/24
主任介護支援専門 員研修	主任介護支援専門員としての役割と視点 運営管理におけるリスクマネジメント 地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク） ケアマネジメントに必要な医療等の連携及び他職種協 同実践 ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対す る支援	実施なし
主任介護支援専門 員更新研修	主任介護支援専門員の役割と視点 運営管理におけるリスクマネジメント 地域援助技術	実施なし

20. あおぞらこども園

◎ 重点計画の実施状況

重 点 計 画	実 施 状 況
教育・保育について ・年度目標について職員全員で共通理解を図り、取り組んでいく ・指導計画では、日々の自己評価を自分の教育・保育に生かせるようにしていく ・子供一人ひとりの気持ちに寄り添う「養護」を大切にしていく	・0歳児の途中入園の人数が昨年よりもゆっくと増えていった状況と途中入園があっても家庭の事情で退園する園児が多い等により当初の予定人数よりも減少した。そのような状況でも園全体の園児の人数に対しての運営状況を含め、配置加算と補助金の要件を満たすための職員の人数がギリギリ間に合う状況で年度を終えた ・園内研修で互いに保育参観を行い、子どもの姿から見えてくる手立てや養護を職員で考え進めていくことで、その子の育ちに対する視野を広げることに繋がった
経営・組織 ・一人ひとりの職員が自分の立場や役割を理解し、実践できるよう努める ・一人ひとりの職員が園全体を考え、協力し合いながら業務に努める	・園児数は減っているものの支援が必要な園児が増えており、湯沢市の支援員、相談員の協力を得ながら、園全体で連携を取り、就学、進級に繋げていった
開かれた園づくり ・地域の定例会など、園の事業活動が伝えられる場に積極的に参加する ・教育・保育の中に地域との関わりを子どもの発達に応じて触れ合える機会を計画していく	・感染症予防のため地域との関わりを最小限に行い、稚魚の放流、会食を伴わない餅つきを計画し実行した ・在宅児を園に招いて園児や園生活に触れてもらう「ふれあい広場」を計画していたが、感染症対策でクラスに入らず、廊下やホール等で園生活の様子を見てもらうようにした。来年度は、誕生日会に参加できるようにしたい

◎入園児童の状況

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
4月	4	27	26	30	23	36	146
5月	4	28	27	30	22	36	147
6月	6	28	27	30	22	36	149
7月	7	26	27	30	22	35	147
8月	8	26	26	30	22	35	147
9月	9	26	26	30	22	35	148
10月	11	27	27	30	22	35	152
11月	12	27	27	30	22	35	153
12月	13	27	27	30	22	35	154
R4.1月	14	27	27	30	22	35	155
2月	15	27	27	30	22	35	156
3月	14	27	27	29	22	35	154

◎一時保育の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	14	2	1	2	3	3	4	0	0	1	0	0
合 計 30 人												

◎会議・研修開催報告

会議名	活動内容	開催日
職員会議	月毎の行事等の確認と反省 各クラス担任から園児に関する情報共有 園外研修報告 等	年 12 回
給食会議	献立内容、衛生面、アレルギーの確認等	年 12 回
リーダー会議	週の主な活動や重要事項などの確認 園児に関する情報共有	毎週月曜日
行事担当会議	担当者が中心となり園 3 大行事の内容、進行を確認	行事前
プロジェクト会議	3 部門に分かれ、それぞれの視点からより良い園づくり を目指し、改善策を話し合う	年 6 回
幹部会	プロジェクト会議から上がってきた事案の可否を決定 する	年 3 回
園内研修	研修担当を中心にテーマを決めて研修を進める	年 10 回
ヒヤリハット委員会	保育部内のヒヤリハットをまとめ、今後の事故防止の ための注意喚起を行う	年 4 回
湯沢市保育施設連絡協議会主催 ・園長会議 ・主任会議	湯沢市内の園長が集まり、湯沢市との連携を図る 連絡協議会等の行事の話し合い 情報交換	年 5 回

◎教育訓練プログラム

プログラム名	教育訓練内容	開催日
他機関による研修 ・保育研究大会 ・乳幼児保育研修 ・主任保育士研修 ・PDCA 研修 ・5 年、10 年経験 者研修 等	職員の勤続年数、業務内容や希望に合わせ、参加する研 修を検討し園全体の資質向上を図る	随時

令和3年度 支援センター事業実施報告

稲川子育て支援センター

活動 項目	活 動	活 動 内 容	実 施 報 告
相 談 活 動	電話相談 訪問相談	・ 育児不安解消のための知識や技術を提供する ・ 幼児虐待防止、早期発見 ・ ストレス解消	電話相談 0 件 訪問相談 31 件 合 計 31 件
子 育 て 支 援 の 活 動	支援室の開放	・ 母親同士の交流、仲間づくりの場を提供 ・ 親子で存分に触れ合う場の提供 ・ 育児不安解消のための情報提供 ・ 子ども同士の触れ合いの場、遊具の提供 ・ サークル活動の立ち上げ ・ 育児相談	支援室・行事開催日 開放日数 244 日
	絵本の読み聞かせ	・ 乳幼児期からの絵本の読み聞かせの大切さを知らせる ・ 親子でいろいろな絵本に親しむ機会をつくる	火・木曜日以外にも読み聞かせの実施あり
	絵本の貸し出し	・ 支援室の絵本を貸し出し、親子の触れ合いや絵本を楽しんでもらう ・ 絵本への興味のきっかけづくり	年間 2冊貸出あり
	チャレンジタイム	・ 様々な活動を通し、親子の触れ合いの場をつくる ・ 母親同士の交流、仲間づくりの場の提供、育児相談 ・ 講師による育児講座	毎月1回 午前10時～
	すくすく成長記録	・ 身長、体重の測定会	毎月1回 午前10時～
	クッキング	・ 様々な活動を通し、親子で触れ合える場を作り、仲間づくりの場の提供をしたりしていく	年 6回
広 報 活 動	ハガキでのお知らせ ポスター制作 パンフレット制作	・ 行事のご案内等を個々に知らせる ・ 子育てに必要な知識や身近な情報を提供する ・ 市民に事業内容を理解してもらう	通信 年12回 ポスター 年1回 パンフレット 年1回

21. あおぞらK i d ' s

◎ 重点目標の実施状況

重 点 目 標	実 施 状 況
保育の充実 ・遊びの提供や遊び場の確保等、充実を図る ・季節に合わせたイベントの開催、児童が主体となり企画する ・状況に合わせ、環境の再構築をしていく	・こども園の園庭や空きスペースを活用することで密にならないようにしたり、活動に合わせて移動したり等、環境を整えながら快適に過ごすことができた ・令和4年4月からの稲川児童クラブ開所に向け、大館教室の児童と年3回交流会を行ったことで、児童同士のコミュニケーションが図れた
職員間のコミュニケーション ・報連相の徹底（言葉で伝える、メモを残す、互いに話せる環境）	・報連相の徹底については、言葉で伝えるプラスアルファでメモを残し、文字で伝えることを互いに意識し合った。また、月に1回の湯沢市との定例会の内容も会議録に残すことで情報漏れがないように努めた
家庭とのスムーズな連携 ・送迎時の会話、電話、メールの活用、通信等を通して信頼関係を築いていく ・傾聴の姿勢を大切にする	・緊急な連絡事項や感染症の対応等、一斉メールを活用することで休日や開所時間以外でも保護者と連携をとることができた ・保護者が安心して預けられるように、月1回発行の通信に写真を多く載せることで可視化し、学童での過ごし方や友達との関わりの様子がより伝えられるように工夫した

◎利用児童者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人 数	732	596	690	727	643	572	571	545	551	476	393	558
年間延べ利用者数 . . . 7,054 人												

◎会議開催報告

会議名	活動内容	開催日
職員会議	毎月の活動内容等の検討をしながら充実した放課後の時間に繋げる	月1回
情報交換会	地域への情報発信 ・稲川地区、民児協の方々との定例会を開催し、情報を発信したり、児童との交流会をしたりする 小学校との情報交換 ・情報交換等を通し、児童の安全・安心な生活に繋げる 保育施設との情報交換 ・主に新1年生を対象に必要な情報を得ながらスムーズな学童保育の利用に繋げる	(定例会) 6/4, 7/1 (交流会) 8/18, 12/27, 3/28

◎教育訓練プログラム

プログラム名	教育訓練内容	開催日
支援員研修	支援員資格取得のための研修	該当者なし
学童研修1	学童について（県児童館等連絡協議会主催）	不参加
学童研修2	学童について（湯沢市主催）	開催なし

【用語一覧】

あ	OJT	．．．．．	職場内研修
	OFF-JT	．．．．．	外部研修
か	キャリアパス	．．．．．	職位や職務に就任するために必要な業務とその順序、配置異動のルートの総称。キャリアアップの筋道
さ	ストレスチェック	．．．．．	ストレスに関する質問票に労働者が記入し、それを集計・分析することで自分のストレスがどのような状態にあるのかを調べる簡単な検査（2015 年 12 月から労働者が 50 人以上いる事業所はこの検査が義務づけられた）
な	24 時間シート	．．．．．	入所者が 1 日をどのように暮らしたいのか、それをどのようにサポートすればよいか、視点を 1 日の暮らしに合わせて文章に表したもの
は	法令遵守	．．．．．	コンプライアンスのことで法律や条令に違反しないこと
	PDCA サイクル	．．．．．	Plan（計画）Do（実行）Check（評価）Action（改善）を繰り返すことによって、業務の効率化や最適化を行う
ら	リスクマネジメント	．．．．．	各種の危険による不測の損害を最小の費用で効果的に処理するための経営管理手法
	LIFE	．．．．．	Long-term care Information system For Evidence 『科学的介護情報システム』利用者の状態やケア内容などを全国規模で蓄積大規模なデータベース